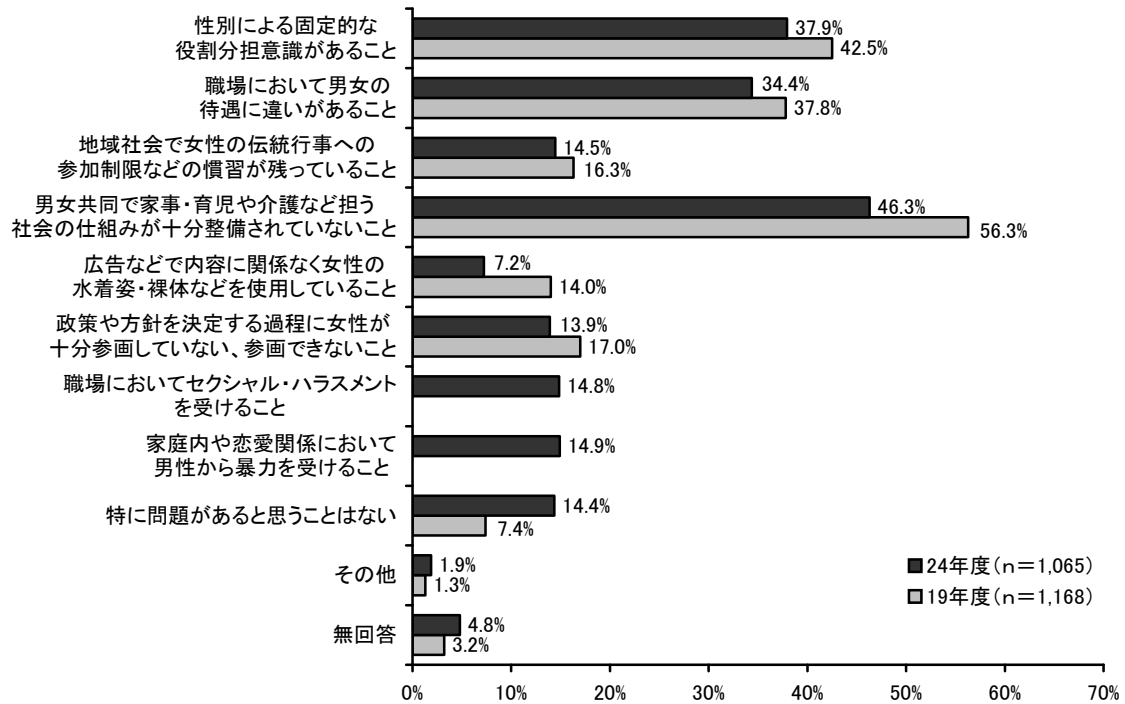


3-2 女性の人権について

(1) 女性の人権問題で、特に問題があると思うこと

問13 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

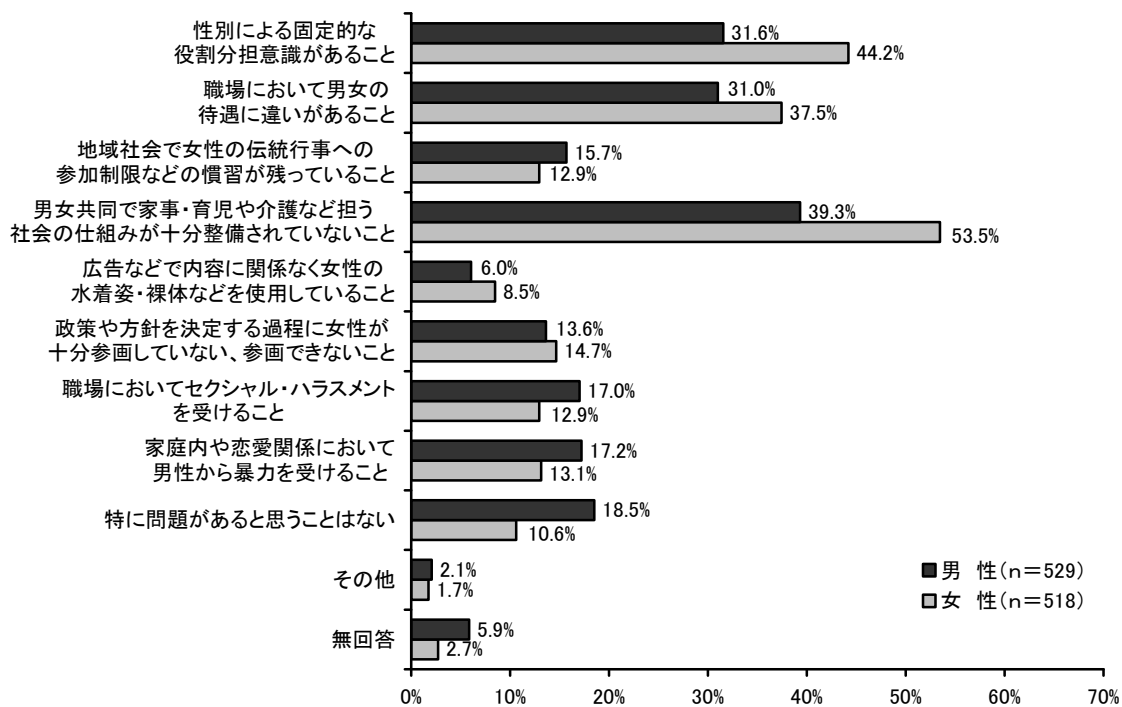


■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」が46.3%で最も高く、次いで「性別による固定的な役割分担意識があること」が37.9%、「職場において、男女の待遇に違いがあること」が34.4%の順となっている。

【前回比較】

※「職場においてセクシャル・ハラスメントを受けること」「家庭内や恋愛関係において男性から暴力を受けること」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

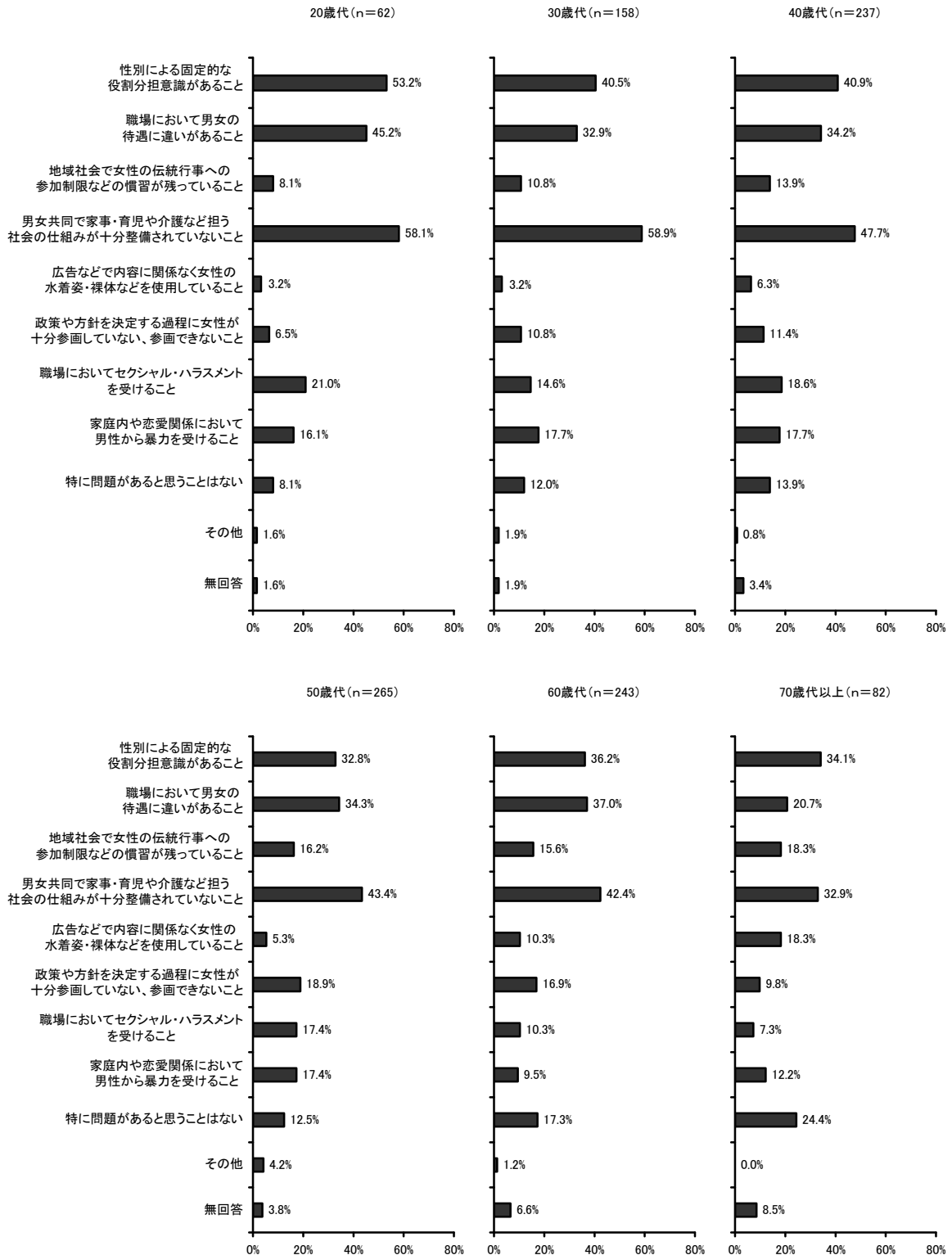
男女別



■ 女性は「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」が53.5%、「性別による固定的な役割分担意識があること」が44.2%と男性より高くなっている。

■ 「特に問題があると思うことはない」の割合は、男性がやや高い。

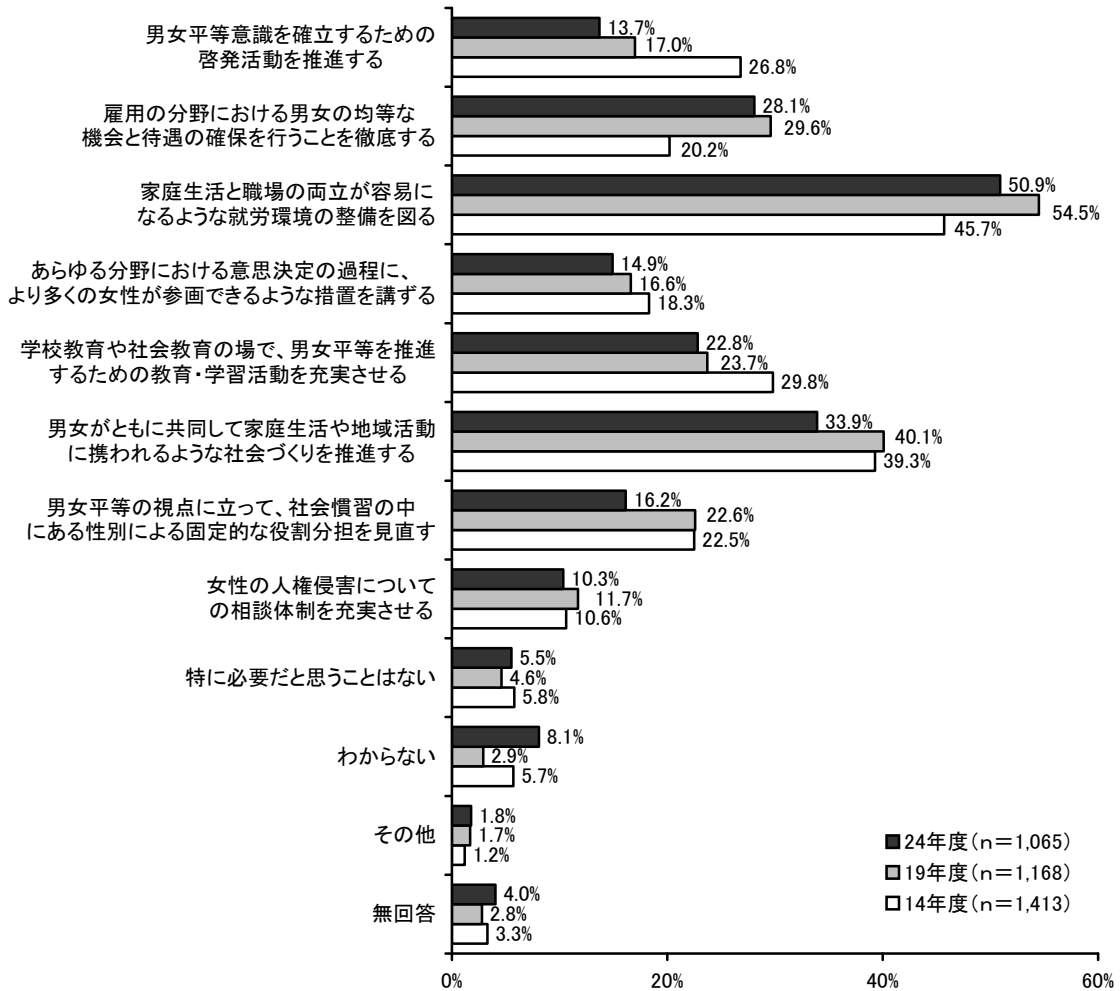
年代別



■「男女共同で家事・育児や介護などを担う社会の仕組みが十分整備されていないこと」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

(2) 女性の人権を尊重していくために必要なこと

問14 女性の人権を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

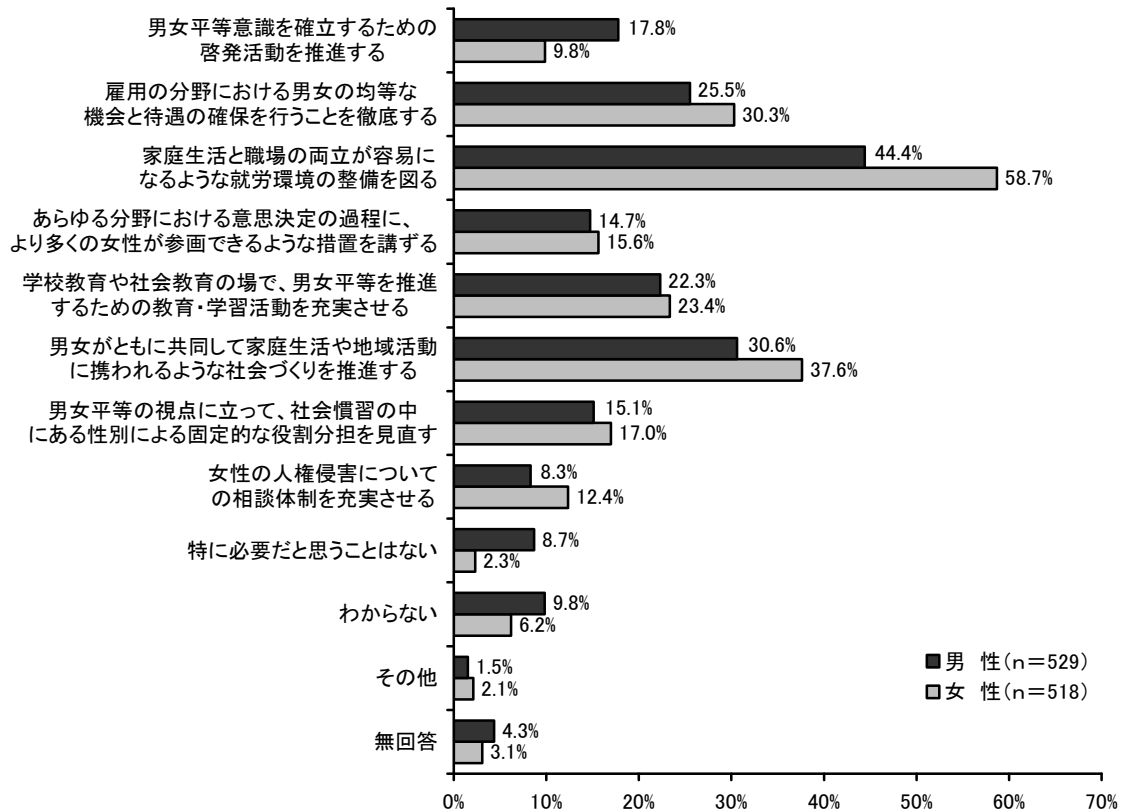


■「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が50.9%で最も高く、次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が33.9%、「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」が28.1%の順となっている。

【前回比較】

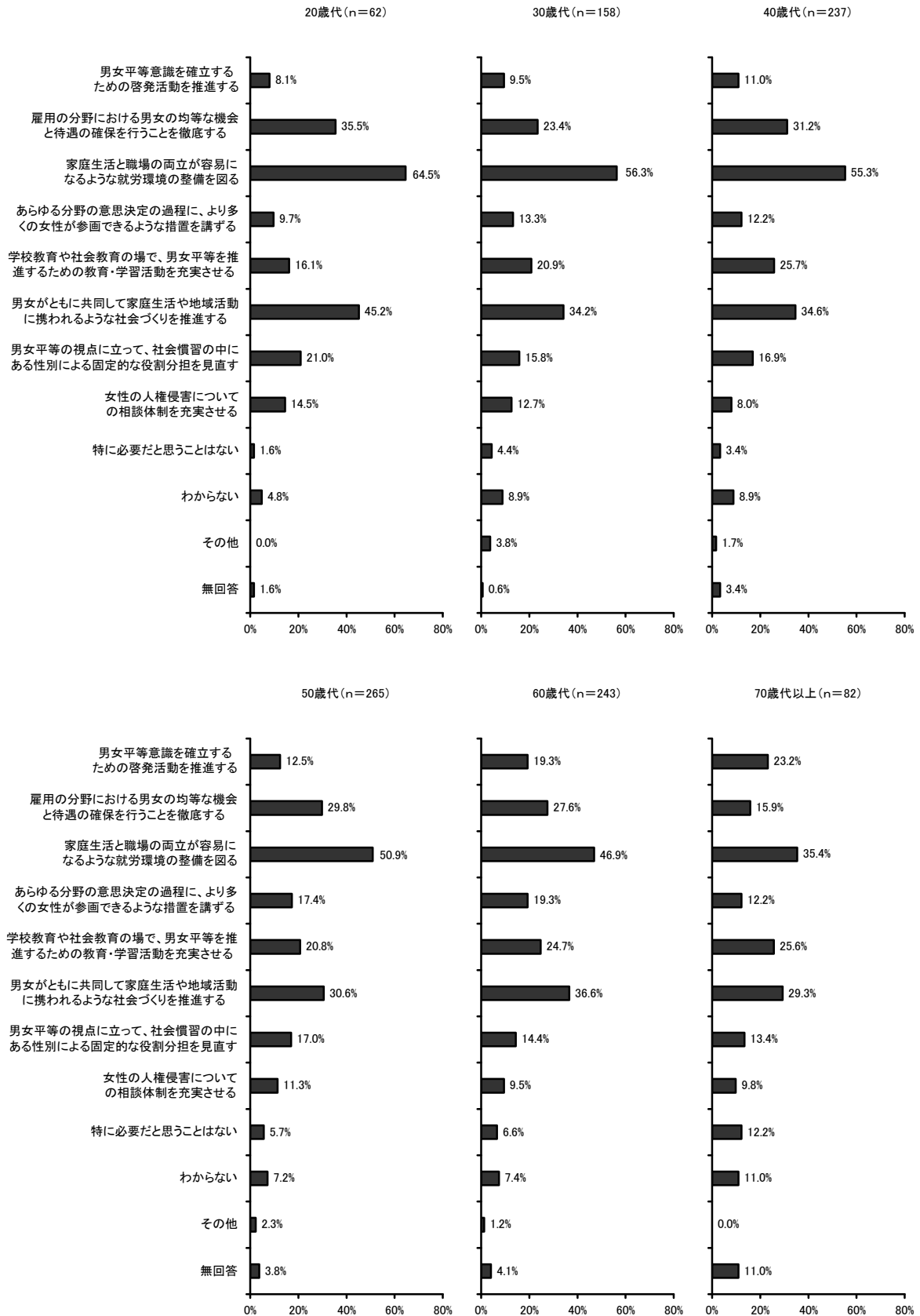
■「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」は前回に比べ6.2ポイント、「男女平等の視点に立って、社会慣習の中にある性別による固定的な役割分担を見直す」は6.4ポイント減少している。

男女別



- 男女共に「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高く、女性は6割弱となっている。次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」の順となっている。
- 「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は男性が高く、「女性の人権侵害についての相談体制を充実させる」の割合は女性がやや高い。

年代別



- 全ての年代で「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」の割合が最も高くなっている。
- 「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。